

昔を伝えるもの

1 祭りや行事

昔から福山の主な行事は、新春に行われる「とんど」と、お盆^{ぼん}の「二上り」でした。現在では、5月のばら祭と、夏に行われる福山夏まつりが主なものとなり、二上りはその中で踊^{おど}られます。また、秋には、町内会や子ども会ごとに、秋祭りも開かれています。神輿^{みこし}が出る^{おど}などして、賑^{にぎ}やかに行われます。この他にも、市内各地には子どもたちの楽しみとして、「いのこ」など季節ごとにいくつかの行事を行っているところがあります。「はねおどり」や「神楽」などは、その年の豊作を祝って踊られます。



〔とんど〕



〔二上り〕



〔はねおどり〕



〔^{かぐら}神楽〕

(1) とんど

「とんど」は平安時代、御所で行われていた正月行事の一つで、「左儀長」と呼ばれた行事が起源と言われています。

それが段々と人々の間に広まり、福山城に初の城主が入城した際、それを祝って町の人々がとんどを飾りつけ、担ぎ回ったことが「練り歩く形のとんど」の起源だと言われています。



〔「とんど」(『福山左儀長絵巻』(部分) 福山城博物館蔵)〕

その後、「とんど」は地域の人々が集い、正月飾りを焼くことで、1年間無病息災を願って行われるようになりました。

しばらくの間「とんど」が行われなかった時期もありましたが、最近では、1月15日または、その前後の休日に、商店街や地域の子ども会を中心に、福山市内の多くの学区で行われるようになりました。

沼隈町能登原に伝えられている、「能登原とんど」は福山市の無形文化財に指定されています。



〔能登原とんど〕

どんな願いや思いをもって、とんどを受け継いできたんだろう。



(2) 二上りおどり

毎年8月13日から15日の3日間、福山市内中心部の商店街や中央公園などで、福山夏まつりが開催されます。そこでは、「二上りおどり」と呼ばれる踊りが多くの人々によって踊られます。

この「二上りおどり」は、盆踊りの一種と考えられる踊りです。

江戸時代、三味線しゃみせんの「二上り」のメロディーをもとに、尺八しゃくはちなどの楽器に合わせ、頭おりがさに折笠ほお・頬かむりをし、手うちわに団扇を持ち踊っていました。

現在では、団扇に代えて竹製の打楽器「四ツ竹」を使い、頭かぶに被るものも、はちまきや手拭てぬぐいに変わり、楽器には鉦かね・太鼓たいこを加え、踊りの曲も速いテンポになっています。



〔福山夏まつりで踊られる「二上りおどり」〕



ふるさと豆知識

二種類の二上り

「二上り」には、福山城下に伝わるものと、江戸時代の宿場町であった神辺に伝わっていたとされる二つの踊りがあります。

福山城下に伝わるものは「広島県無形民俗文化財」に指定され、神辺に伝わっていたとされるものは「福山市無形民俗文化財」に指定されています。

(3) はねおどり

「はねおどり」は、古来より備後南部一帯で踊られたもので、起源は農村行事「虫送り」「雨乞い」であったと考えられています。その名の通り、楽器を打ち鳴らしながら大地を踏みしめたり、跳びはねたりして踊ります。踊りの起源は明らかではありませんが、少なくとも江戸時代以前から踊られていたと伝えられています。



みっかいち
〔神辺町三日市の「はねおどり」〕

江戸時代、水野勝成が福山城主となり、この踊りを見て、勇ましく活気に満ちていることから、これを推進し、各村々に鉦と鼓を配り、雨乞い・虫送り・祭りなどの行事に行かせたと伝えられており、この時代から盛んになったと言われています。

現在は沼隈・蔵王・田尻の「はねおどり」が広島県無形民俗文化財の指定を受け、今に至っています。

踊りの様式は、単衣の着物にたすきがけをし、手甲・脚半にわらじを履き、鬼や音頭取りの音頭に合わせ、鉦や太鼓を打ち鳴らして踊ります。

大胴と呼ぶ大太鼓は、左手に抱えこみ、大きく振り回しながら打ちます。入鼓と呼ぶ小太鼓は、胸につけ、跳びはねるように打ちます。鉦は、左手に持ち、腰をかがめて打ちます。



〔山南の「はねおどり」〕



とんどや二上りおどり、はねおどりは、これからも受け継いでいくための課題はないのかな。

2 昔の建物と町並み

福山市には、何百年も前に建築されたお寺や民家、昔の生活の様子が分かるものが保存されています。また、広島県立歴史博物館には、昔栄えた草戸千軒の町も復元されています。



〔明王院本堂〕



〔鞆の古い町並み〕



〔明治2年の福山城〕



〔昭和の初めごろの藤江小学校〕



〔昭和12年の大津野小学校新校舎落成式〕



〔再現された草戸千軒の町〕

福山市ウォーキングマップ



「福山市ウォーキングマップ」というものを見つけたよ。なんのマップなんだろう。

健康ふくやま21



ふくっぴー

福山を歩いてみたい!!「あの町、この町」

ウォーキング 戸手 学区

【大佐山白塚古墳5.0kmコース】

①スタート地点: 戸手公民館
 ②中戸手具神社: 0.5km
 ③荒神社: 0.9km
 ④八幡神社: 1.0km
 ⑤大佐池: 1.7km
 ⑥大佐山白塚古墳: 2.5km
 ⑦戸手公民館(着): 5.0km

コースの概要:
 スタート地点: 戸手公民館
 コース距離: 約5km
 所要時間: 約1時間30分
 ※所要時間には休憩・見学時間は含まれません。

ウォーキングマップは、小学校区ごとに、地域の自然や名所を楽しみながら歩くことができるコースを紹介した地図なんだよ。

福山のみなさんの健康づくりのためのボランティアをしてくださっている、福山市運動普及推進員の人たちが作ってくれたんだよ。ぜひ、家族と一緒に地域めぐりをしてみてね。

福山を歩いてみたい!!「あの町、この町」

ウォーキング 千年 学区

【海・山・川 千年学区の絶景コース】

①沼袋交差点
 ②内海大橋登り口
 ③小尾越坂
 ④内海大橋を見る
 ⑤山南川散歩道
 ⑥枝江公園

コースの概要:
 スタート地点: 沼袋交差点
 コース距離: 約4km
 所要時間: 約1時間
 ※所要時間には休憩・見学時間は含まれません。

福山を歩いてみたい!!「あの町、この町」

ウォーキング 東 学区

【東公民館～水野園成のお墓～高野山別院～しよや美術館コース】

①福山陸軍水野園成のお墓
 ②高野山福山別院
 ③しよや美術館
 ④大瀬町商店街

コースの概要:
 スタート地点: 東公民館
 コース距離: 約2km
 所要時間: 約45分
 ※所要時間には休憩・見学時間は含まれません。



マップは、下記の福山市ホームページからダウンロードできるよ。

<http://www.city.fukuyama.hiroshima.jp/soshiki/kenkosuishin/723.html>